

避難情報の意味の違い

「**高齢者等避難**」は危険な場所から高齢者等は避難を開始。

「**避難指示**」は危険な場所から全員避難の開始を意味しています。

「**緊急安全確保**」が出たら屋外での活動をすべて中止してください。

緊急安全確保は、① 気象台から特別警報が発表された時や、

② 円山川立野地点の水位が排水ポンプ停止基準の**7.16m**に達した時等、市民の皆さんに重大な危険が迫ったときに、対象地域に発令されます。

なお、避難指示等の基準となる水位（基準水位）は、円山川以外の河川においても、河川管理者（国、県）が設定しており、市はこれを洪水に関する避難情報の判断材料としています。また、土砂災害についても避難情報は同様の意味を持っています。

市民の皆さんは、市から避難指示が発令されたら、危険な場所にいる場合は全員避難を、緊急安全確保が発令されたら、直ちに避難を終了する等、命を守る行動を取ってください。

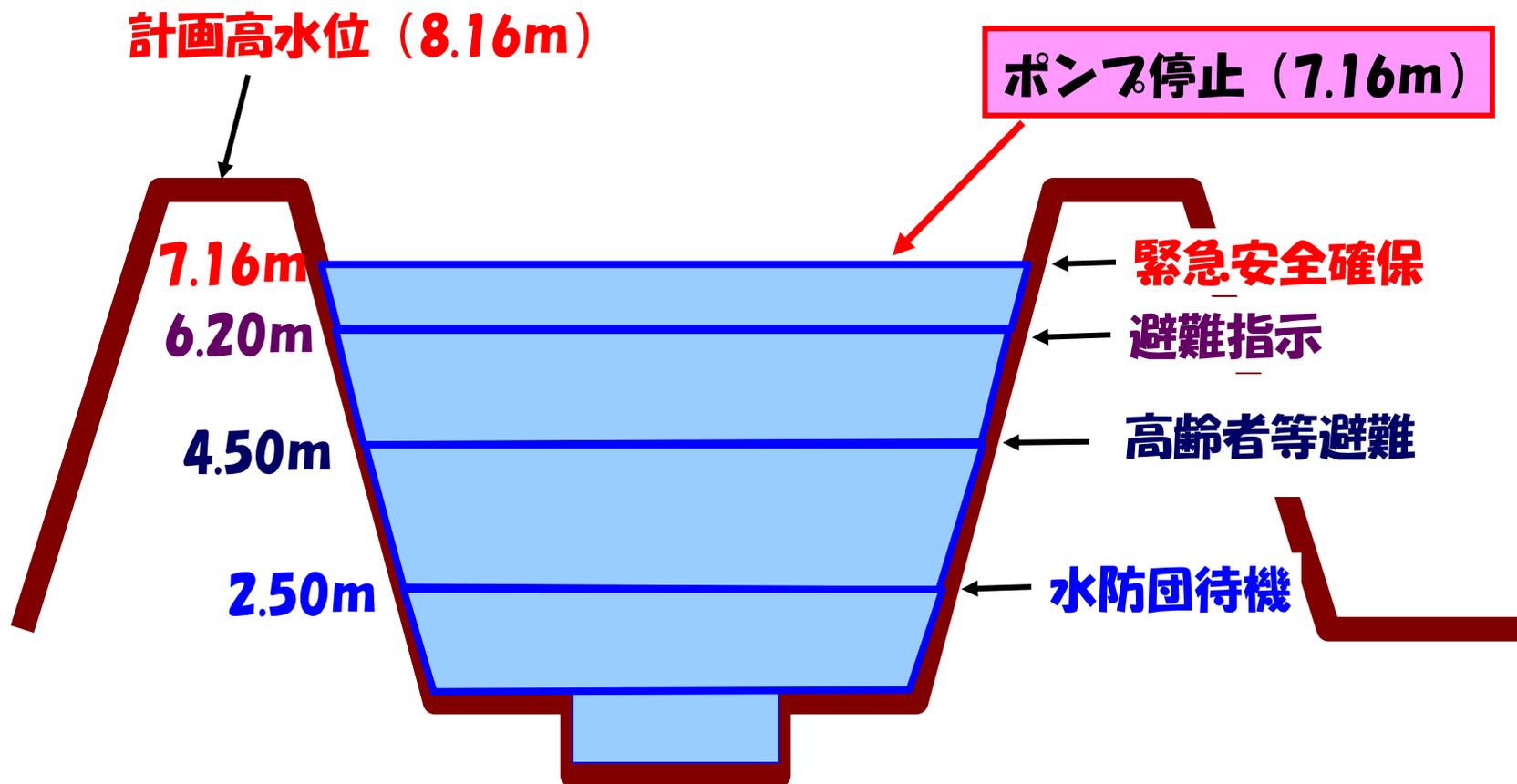
■洪水に関する避難情報の目安

河川管理者は、河川ごとに避難指示等の目安となる基準水位を定めています。市は、この水位を参考に、堤防決壊などの危険性を避難情報としてお届けしています。河川の水位は、インターネットで閲覧が可能です。「市のホームページ」若しくは「川の防災情報」で検索してください。

【豊岡市の洪水時避難基準】

河川（観測所）	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
円山川下流（立野）	4.50m	6.20m	7.16m
出石川下流（弘原）	2.40m	4.30m	4.80m
奈佐川下流（宮井）	3.20m	4.10m	4.90m
奈佐川上流（野垣）	2.30m	2.60m	3.20m
出石川上流（矢根）	3.20m	3.80m	4.30m
稲葉川（伊府）	1.90m	2.20m	3.00m
竹野川（森本）	2.80m	3.20m	3.80m

避難情報の目安(円山川の例)



避難情報の基準となる **立野** 水位観測所の水位

水防活動の撤収時期(円山川の例)

区分	避難指示(警戒レベル4)	緊急安全確保(警戒レベル5)
立野地点の水位	6.20m (更に上昇する見込み)	7.16m
事象		排水ポンプの停止
起こりうる現象		内水が急上昇、道路が冠水
市民の行動	危険な場所にいる人は避難を 開始 する	屋内にいる方は、建物の2階以上の山側とは反対の部屋に 退避 する 屋外にいる方は、直ちに活動を中止し、周辺建物の2階以上に 退避 する
市職員の行動	水防活動を止め、市民の避難支援に回る	屋外移動を止め安全な場所に退避する
消防団の行動	水防活動を止め、市民の避難支援に回る	屋外移動を止め安全な場所に退避する



避難情報の意味を知る

法律等に規定

レベル5

緊急安全確保

命の危険 直ちに安全確保！

直ちに避難を **終了** してください。

直ちに避難を終了できない場合は、
建物の2階以上に避難。

レベル4

避難指示

危険な場所から全員避難

避難を **開始** してください。

レベル3

高齢者等避難

危険な場所から高齢者等は避難

高齢者など避難に時間を要する人は
避難を **開始** しましょう。

高齢者等以外は、避難の **準備** を。

自主避難所の開設

夜間に避難指示以上の情報を発令する
可能性がある時、**夜間の避難が不安な方**
を対象に早めの自主避難を呼びかけます。